Energy Valve 取扱説明書（配管設置編）

2015.4　Ver.0

イーエムティー株式会社

1. Energy Valve の選定

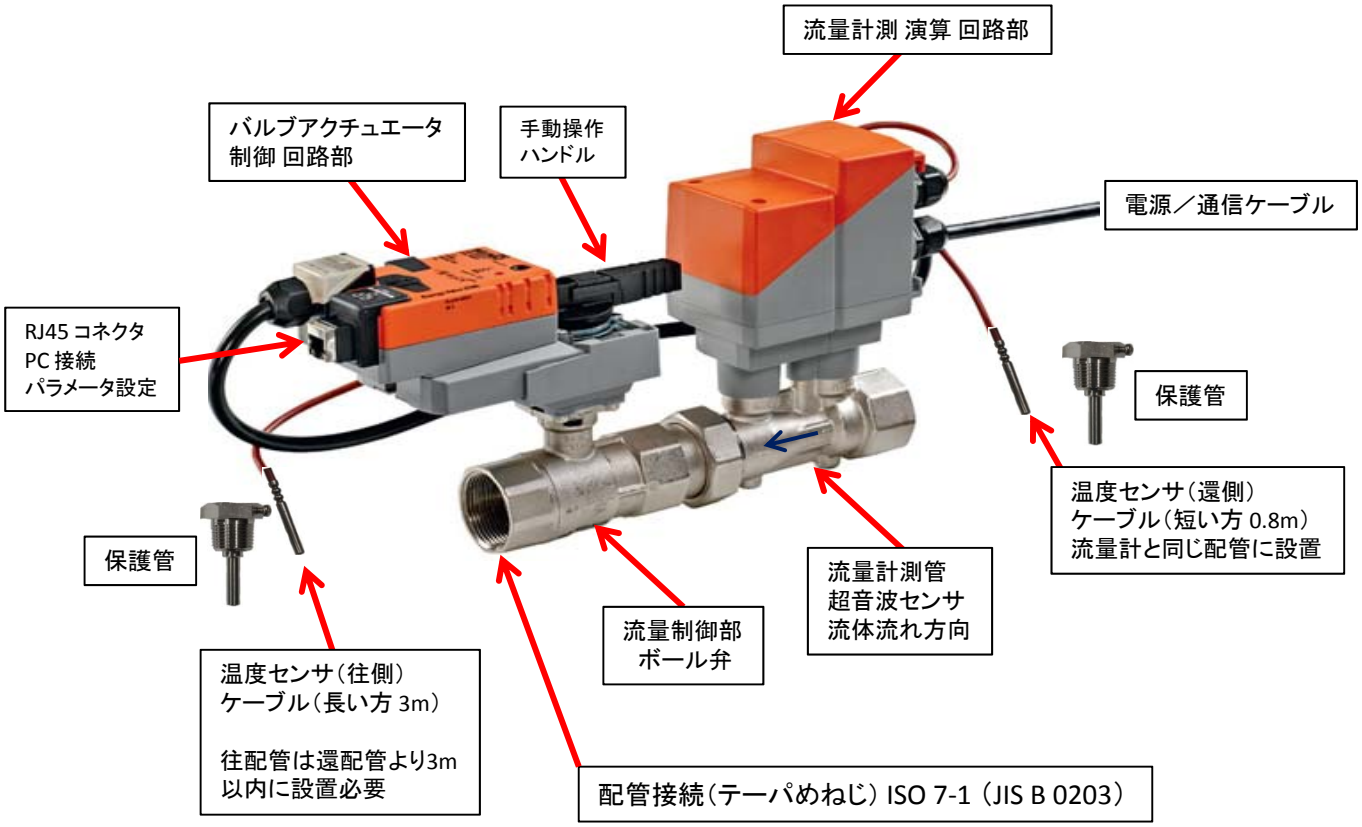
下の表は、型式、口径、定格流量、です、設計流量が定格流量以下で最も近い型式のものを選定します。
口径は配管接続口径になります。

型式	口径	定格流量	
	（mm）	（L/min）	（m^3/h）
EV015R+BAC	15	21	1.26
EV020R+BAC	20	39	2.34
EV025R+BAC	25	69	4.14
EV032R+BAC	32	108	6.48
EV040R+BAC	40	150	9.00
EV050R+BAC	50	288	17.28
EV050R+BAC-N	50	378	22.68

全口径 共通仕様

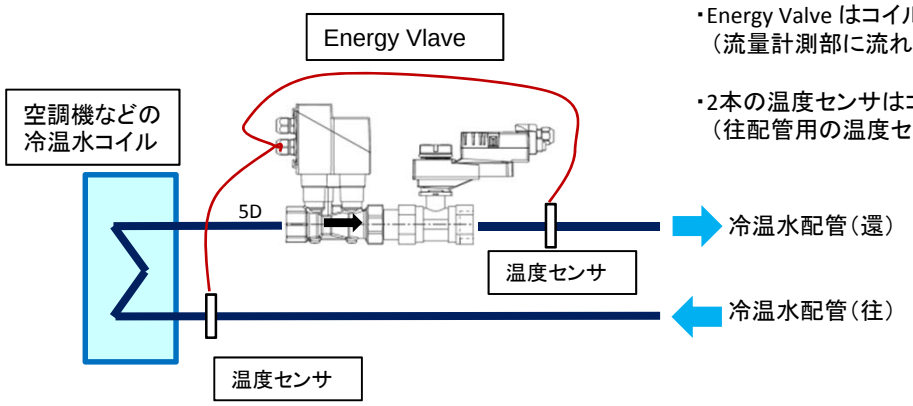
・最大許容圧力　1.6 Mpa
・配管接続：ネジ ISO 7-1

2. Energy Valve 各部の説明



3. 配管への取り付け上の注意事項

3.1 冷温水コイルに対する Energy valve の取付位置

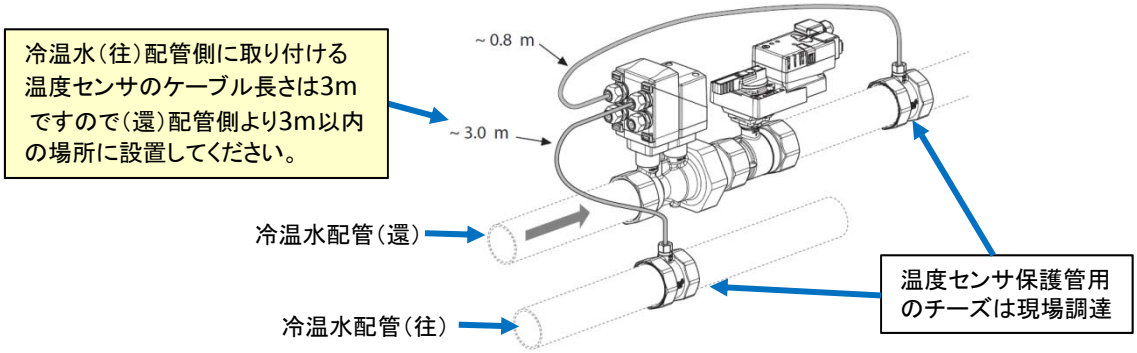


・Energy Valve はコイルの出口側に設置
（流量計測部に流れ向きの矢印の刻印があります）

・2本の温度センサはコイルの入口側と出口側に設置
（往配管用の温度センサのケーブル長さ＝3m）

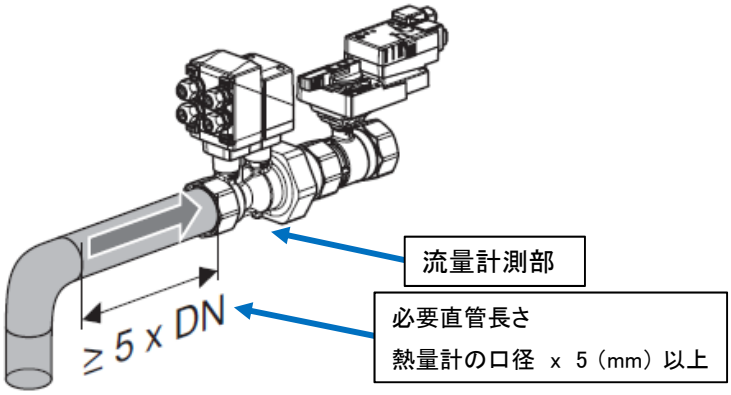
3.2 往/還配管の設置位置

温度センサのケーブル長さは、（往）側T1＝3m、（還）側T2＝0.8m です。
温度センサのケーブルは延長／切断はできません。
（往）側の温度センサが届く場所に往配管を設けてください。



3.3 必要な直管部

流量計測部の入口側に口径の5倍以上の直管部分を設けてください。



3.4　メンテナンスのために

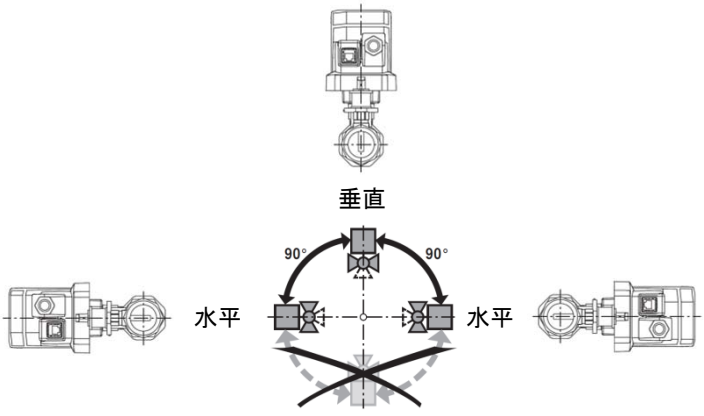
Energy Valve を天井内に設置する場合には、手の届く場所に点検口を設けてください。
Energy Valve が配管より取り外せるよう、前後の配管に手動バルブおよびユニオン継手を設けてください。

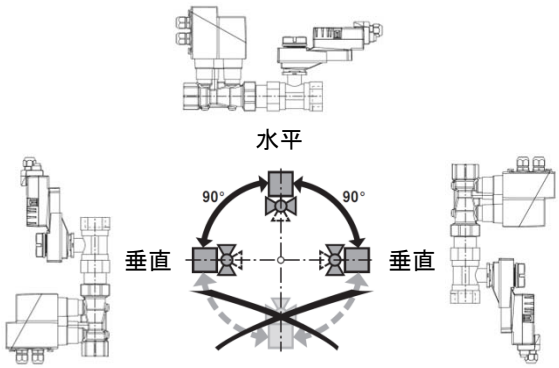
3.5 エアーだまり対策

流量計測部の超音波センサは計測流体に空気が混入していると計測ができなくなりますのでエアーだまりのできそうな場所への設置は避けてください。
また、試運転の際には十分に配管内のエア抜きを行ってください。

3.6 取付姿勢

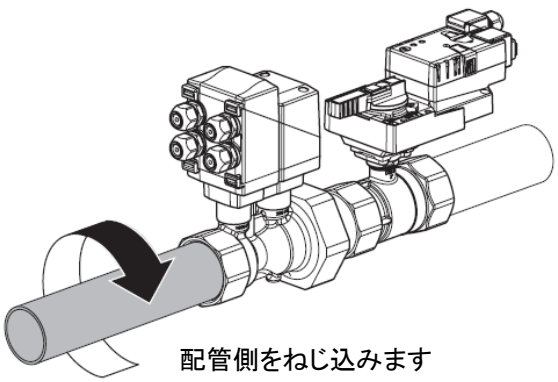
Energy Valve の取り付け姿勢は下の図のように垂直より水平までの範囲で取り付け可能です。



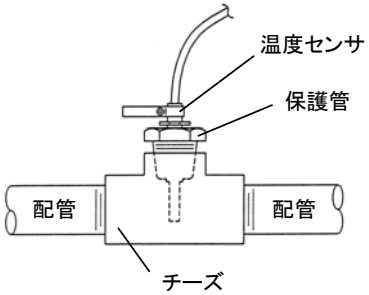


3.7 配管への取り付け

Energy Valve の取り付けは下の図のよう本体を固定し、配管をねじ込んでください。



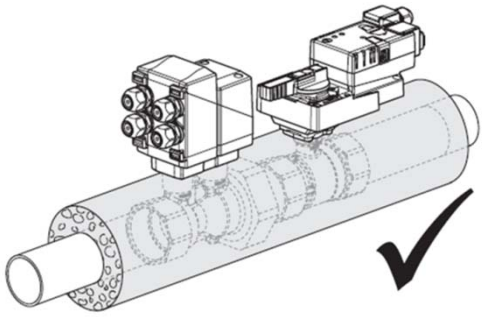
配管側をねじ込みます

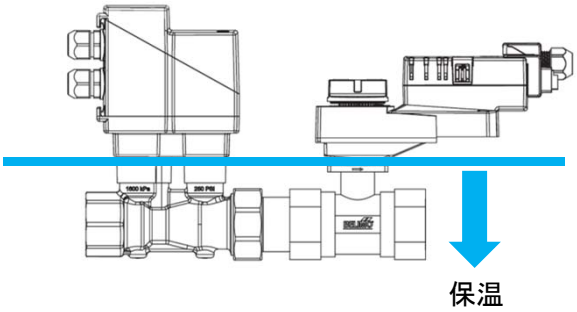


チーズは現場手配品です。
保護管挿入部は 15A ですので径違いチーズを使用し保護管先端が主管内に入るようにしてください。

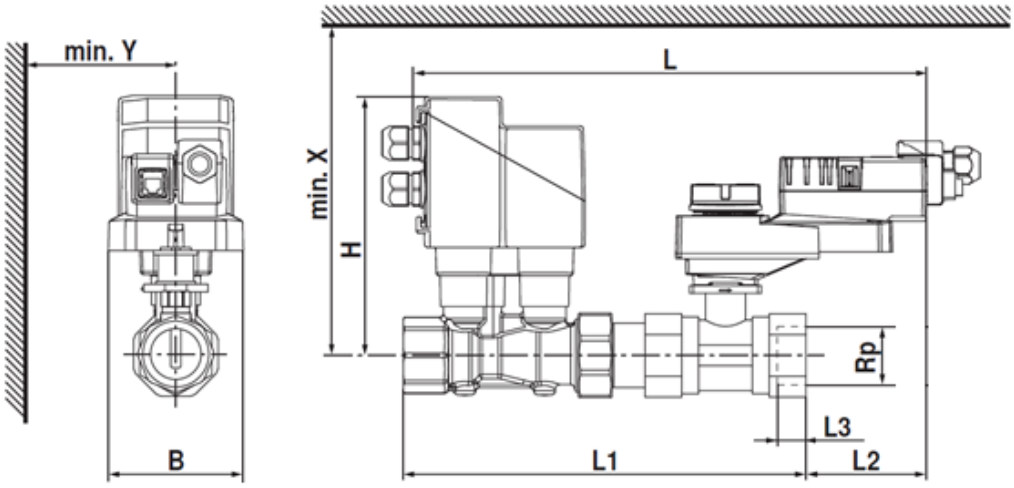
3.8 保温

Energy Valve の保温は下の図を参照ください。

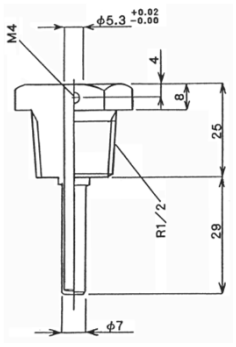




3.9 Energy Valve 寸法表



温度センサ用保護管



型式	口径 DN	Rp	L	L1	L2	L3	B	H	点検用スペース		重量
	（mm）	（インチ）	（mm）	（mm）	（mm）	（mm）	（mm）	（mm）	X （mm）	Y （mm）	kg
EV015R+BAC	15	1/2	278	191	81	13	75	160	500	300	2.2
EV020R+BAC	20	3/4	285	203	75	14	75	162	500	300	2.5
EV025R+BAC	25	1	296	231	71	16	75	165	500	300	2.9
EV032R+BAC	32	1･1/4	324	254	68	19	75	168	500	300	3.8
EV040R+BAC	40	1･1/2	334	274	65	19	75	172	500	300	4.5
EV050R+BAC	50	2	341	284	69	22	75	177	500	300	6.0
EV050R+BAC-N	50	2	341	284	69	22	75	177	500	300	6.0